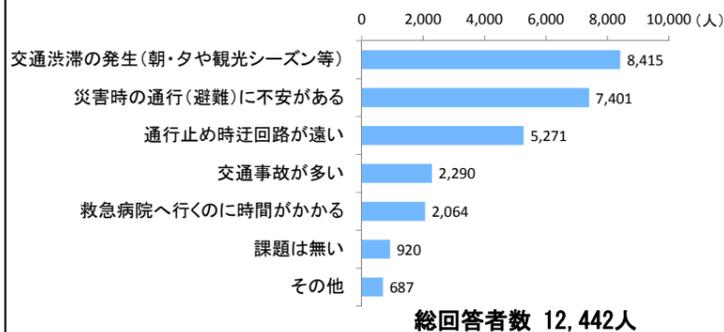
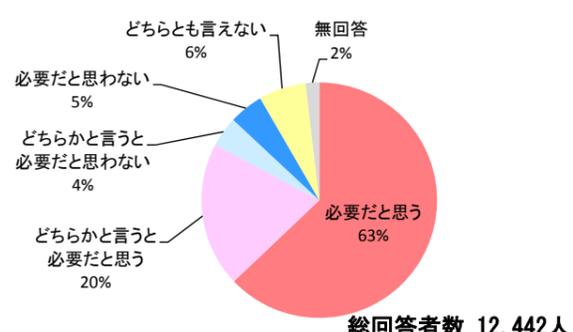


第1回アンケートには地域のみなさまや道路を利用される方などから、12,442件の回答をいただきました。【アンケート結果】

【国道6号(北茨城市～いわき市間)の課題について】



【国道6号(北茨城市～いわき市間)の道路整備の必要性について】



「朝夕や観光シーズンの渋滞」や「災害時の通行や避難への不安」を回答する人が過半数を占める。

約8割の方が道路整備の必要性を感じている。

現道の課題

1. 国道6号の交通容量の不足による混雑、交通事故の発生

- ◆国道6号の交通量は2車線の交通容量を上回り、主要渋滞箇所も存在します。また、震災前の海水浴シーズンには走行速度が20km/hを下回ることもありました。
- ◆国道6号の北茨城市～いわき市間は交通事故が多く、約6割が追突事故です。さらに、死亡事故も発生しています。

2. 緊急輸送路である国道6号が脆弱

- ◆国道6号は東日本大震災時の津波により浸水し、いわき市勿来の御城前交差点付近では約2日間に渡り通行止めになりました。
- ◆勿来地区では国道6号の近くに迂回路が無く、津波などの災害により通行止めとなった場合、広域な迂回が生じます。



▲津波浸水状況(御城前交差点付近) H23年3月11日15時頃

3. 第三次救急医療施設への速達性に劣る

- ◆北茨城市からいわき市の第三次救急医療施設へ重篤な患者を搬送するなど、県境を越えた結びつきが強い。
- ◆搬送経路の国道6号には速度低下、主要渋滞箇所、事故多発箇所、津波浸水区間などが存在し速達性に劣る。



アンケートに関するお問い合わせ先

国土交通省 磐城国道事務所 調査課 TEL 0246-23-0963 (直通) 国土交通省 常陸河川国道事務所 計画課 TEL 029-240-4067 (直通)

一般国道6号 (案) 茨城県北茨城市～福島県いわき市間(勿来バイパス)の計画検討に関する第2回アンケート調査 資料2

一般国道6号は、茨城県・福島県の太平洋沿岸を南北に縦貫する主要幹線道路です。本調査は、茨城県北茨城市～福島県いわき市間の道路整備の計画検討にあたり、皆様のご意見をお聞きするためにアンケート調査を行うものです。第2回アンケート調査(今回)では、第1回アンケート調査で頂いたご意見をもとに、ルート帯案を選ぶ際に重視すべき項目等についてご意見をお聞きしたく、ご協力をお願いします。

※本調査で頂いた皆様からのご意見は、計画段階評価※において地域からの意見として「社会资本整備審議会 道路分科会 東北・関東地方合同小委員会」に報告いたします。



※計画段階評価とは、地域の課題や達成すべき目標、地域の意見等を踏まえ、複数案の比較・評価を行うとともに、事業の必要性及び事業内容の妥当性を検証するものです。東北・関東地方合同小委員会の資料等は、国土交通省東北地方整備局、関東地方整備局のホームページでご覧いただけます。

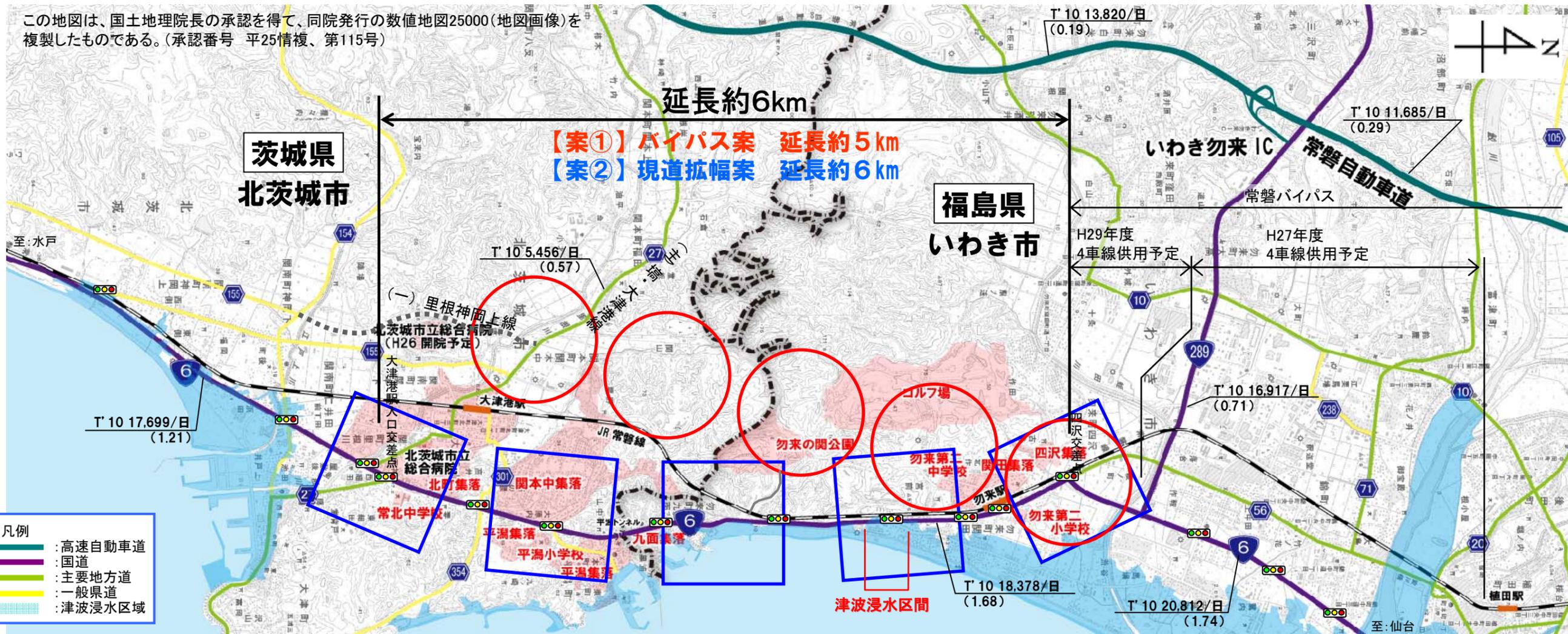
東北地方整備局 URL <http://www.thr.mlit.go.jp/road/ir/shouinkai/index.html>
 関東地方整備局 URL <http://www.ktr.mlit.go.jp/road/shihon/index00000014.html>



国土交通省 磐城国道事務所 常陸河川国道事務所

茨城県北茨城市～福島県いわき市間の概ねのルート帯（案）

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号 平25情複、第115号)

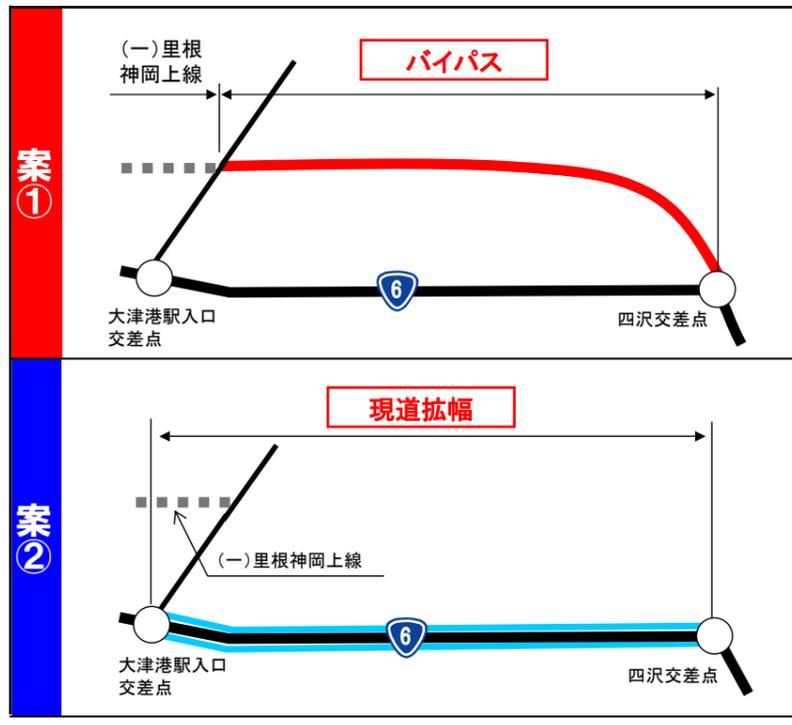


- 凡例
- 高速自動車道
 - 国道
 - 主要地方道
 - 一般県道
 - 津波浸水区域

2つの案の比較結果

| 比較案 | 【案①】バイパス案 延長約5km | 【案②】現道拡幅案 延長約6km | |
|-----------------|--|--|--|
| ルート案の主旨 | バイパスを整備する案 | 国道6号を4車線化する案 | |
| 政策目標 | 交通容量の確保 | バイパスに交通が転換することにより、国道6号の混雑が解消 | 4車線化により国道6号の混雑が解消 |
| | 災害に強い緊急輸送路の確保 | ・津波浸水区間をバイパスで回避する ・新たな代替路が確保される | ・津波浸水区間の国道6号を一部嵩上げする ・新たな代替路は確保されない |
| | 交通事故の減少 | 国道6号の交通量減少により、交通事故の減少効果がある | 4車線化に伴う中央分離帯設置により、右折車が制限され追突事故の減少効果がある |
| | 第三次救急医療施設への速達性 | 北茨城市立総合病院～総合磐城共立病院間の搬送時間36分 | 北茨城市立総合病院～総合磐城共立病院間の搬送時間41分 |
| 県境付近の観光地へのアクセス性 | バイパスのため、勿来の関公園、勿来海水浴場など県境付近の観光地へのアクセスに遠くなる | 現国道を改良するため、勿来の関公園、勿来海水浴場など県境付近の観光地へのアクセスに優れる | |
| 沿道施設へのアクセス性 | バイパスのため、国道6号沿道施設へ直接アクセス出来ない | 国道6号の沿道施設へ直接アクセス出来る(一部嵩上げ区間もアクセスを確保) | |
| 沿道からの避難 | バイパスのため、沿道から直接避難出来ない | 車線数が増え渋滞緩和し、沿道の住民が災害時に避難し易い | |
| 自然の改変 | 山側へ新たな道路を整備するため、自然の改変が多い | 国道6号を拡幅するため、自然の改変が少ない | |
| 影響する家屋数 | 支障物件約40～60件 | 支障物件約260～280件 | |
| 事業費 | 約170～190億円 | 約230～250億円 | |

整備イメージ



※こちらは裏面(表面からの続き)です。

質問①

あなた自身についてお聞きします。国道6号(北茨城市からいわき市間)の利用頻度について、あてはまる番号を1つ選び、回答欄の口にチェックをお願いします。

| | | | |
|---|--------|---|--------------------|
| 1 | 毎日 | 4 | ほとんど利用しない |
| 2 | 週に数回程度 | 5 | 利用したことがない ※質問③へ |
| 3 | 月に数回程度 | | |

< 質問②へ >

質問②

北茨城市からいわき市間の主な利用目的についてあてはまる番号を全て選び、回答欄の口にチェックをお願いします。

(複数回答可)

| | | | |
|---|--------|---|------------|
| 1 | 通勤・通学 | 4 | 仕事(営業・運送等) |
| 2 | 通院 | 5 | 観光・レジャー |
| 3 | 家事・買い物 | 6 | その他() |

< 質問③へ >

質問③

第1回アンケートの結果について妥当だと思いますか。あてはまる番号を1つ選び、回答欄の口にチェックをお願いします。

| | | | |
|---|------------------|------|---|
| 1 | 妥当だと思う | 質問④へ | ➡ |
| 2 | どちらかと言うと妥当だと思う | 質問④へ | ➡ |
| 3 | どちらかと言うと妥当だと思わない | 質問⑥へ | ➡ |
| 4 | 妥当だと思わない | 質問⑥へ | ➡ |
| 5 | どちらとも言えない | 質問⑦へ | ➡ |

質問④

今回、2つのルート帯案を検討していますが、地域にとって望ましい案を選ぶ際に重視すべき項目はどれだと思われますか？特に重要だと思われる番号を3つ選び、回答欄の口にチェックをお願いします。

| | |
|----|----------------------|
| 1 | 現国道6号の混雑が解消される道路 |
| 2 | 津波浸水区間を回避し代替路を確保する道路 |
| 3 | 交通事故の少ない道路 |
| 4 | 救急病院に早く行ける道路 |
| 5 | 県境付近の観光地へアクセスしやすい道路 |
| 6 | 沿道へアクセス出来る道路 |
| 7 | 沿道の住民が避難しやすい道路 |
| 8 | 自然の改変が少ない道路 |
| 9 | 影響する家屋数が少ない道路 |
| 10 | 事業費が経済的な道路 |
| 11 | その他() |

< 質問⑤へ >

質問⑤

④でチェックした項目について、今後具体的なルートを検討する際に配慮すべき事項があれば、具体的にお聞かせ下さい。

< 質問⑦へ >

質問⑥

妥当だと思わない理由についてお聞かせ下さい。

< 質問⑦へ >

質問⑦

その他ご意見がありましたらお聞かせ下さい。

※アンケートハガキは、お近くの郵便ポストへ平成25年〇月〇日まで投函をお願いします。

ご協力ありがとうございました。